

WiMediaの今後(全世界を視野に)

WiMediaアライアンス ファイナンス・オペレーション担当VP Tom Siep

トピック

- WiMediaアライアンスとは
- WiMediaの技術はどこで使用されるのか
- 現在の開発状況
- 規制について
- WiMediaの今後

WiMediaアライアンスとは

WiMediaアライアンスとは

- グローバルな非営利団体
- パートナーのSIGと共有するUWB PAN無線を定義し
認証する
- 政府規制への対応
- 最良の方法を推奨
- 標準策定

WiMediaアライアンスとは

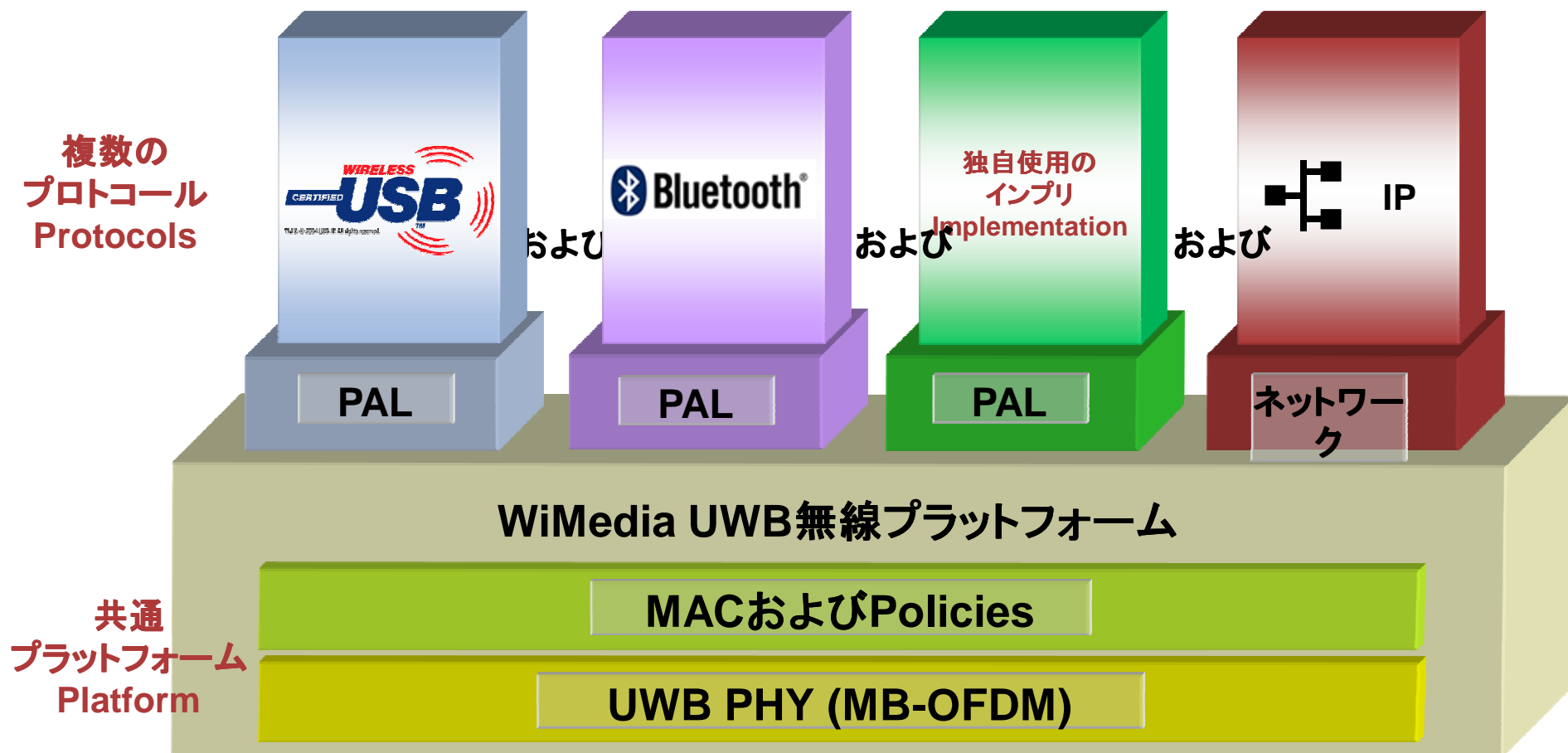
なぜ、このアプローチなのか

- 近隣の異種の無線との干渉回避
- 接続性確保のための複数の無線提供を回避
- 規模の経済を最大化

メンバー

- 現在のメンバー~350社
- 全分野の企業をカバーチップセット、ソフトウェア、テスト、OEM、ODM

WiMedia共通無線プラットフォーム

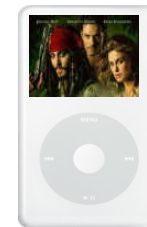
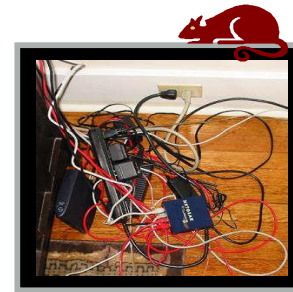


PAL Protocol Adaptation Layer

使用用途

今後生じる用途およびサービス

- スパゲッティのような配線がいらなくなる
 - ▶ PCおよび周辺機器
 - ▶ ホームエンターテイメント
- その場で同期化
 - ▶ メディアコンテンツを携帯デバイスにダウンロード(動画など)
 - ▶ コンテンツをPCやセットトップボックスにアップロード(写真、カレンダーなど)



現状

製品投入進捗状況



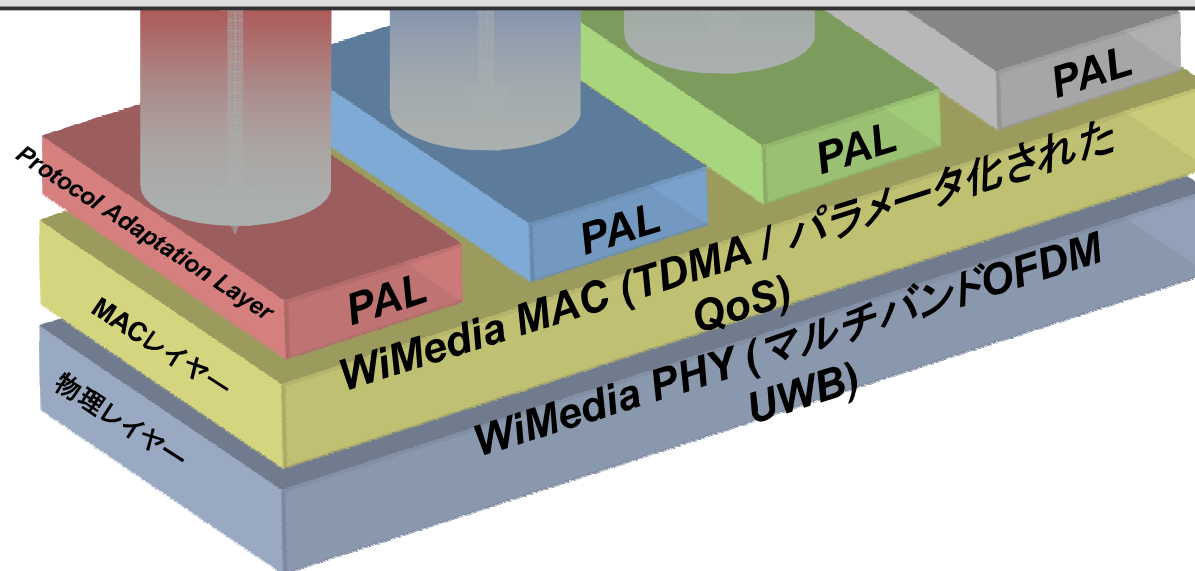
(無線プラットフォーム)

無線チップ(PHY)

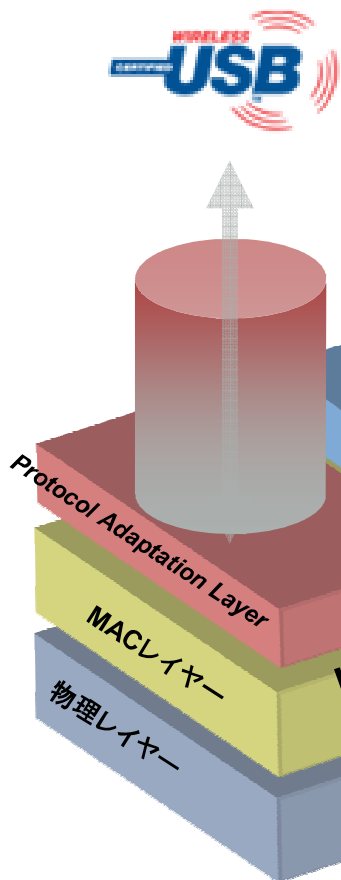
✓ 19種類のチップ

プラットフォーム製品(PHY + MAC)

✓ 21PHYとMACのインプリ



製品出荷準備状況



コンピュータ製品
ラップトップPC
コンシューマ製品
49の認証済み最終製品
✓ 12 laptop computers
Consumer products:
✓ 49 certified end products

UWB
プラットフォーム
Radio Platform

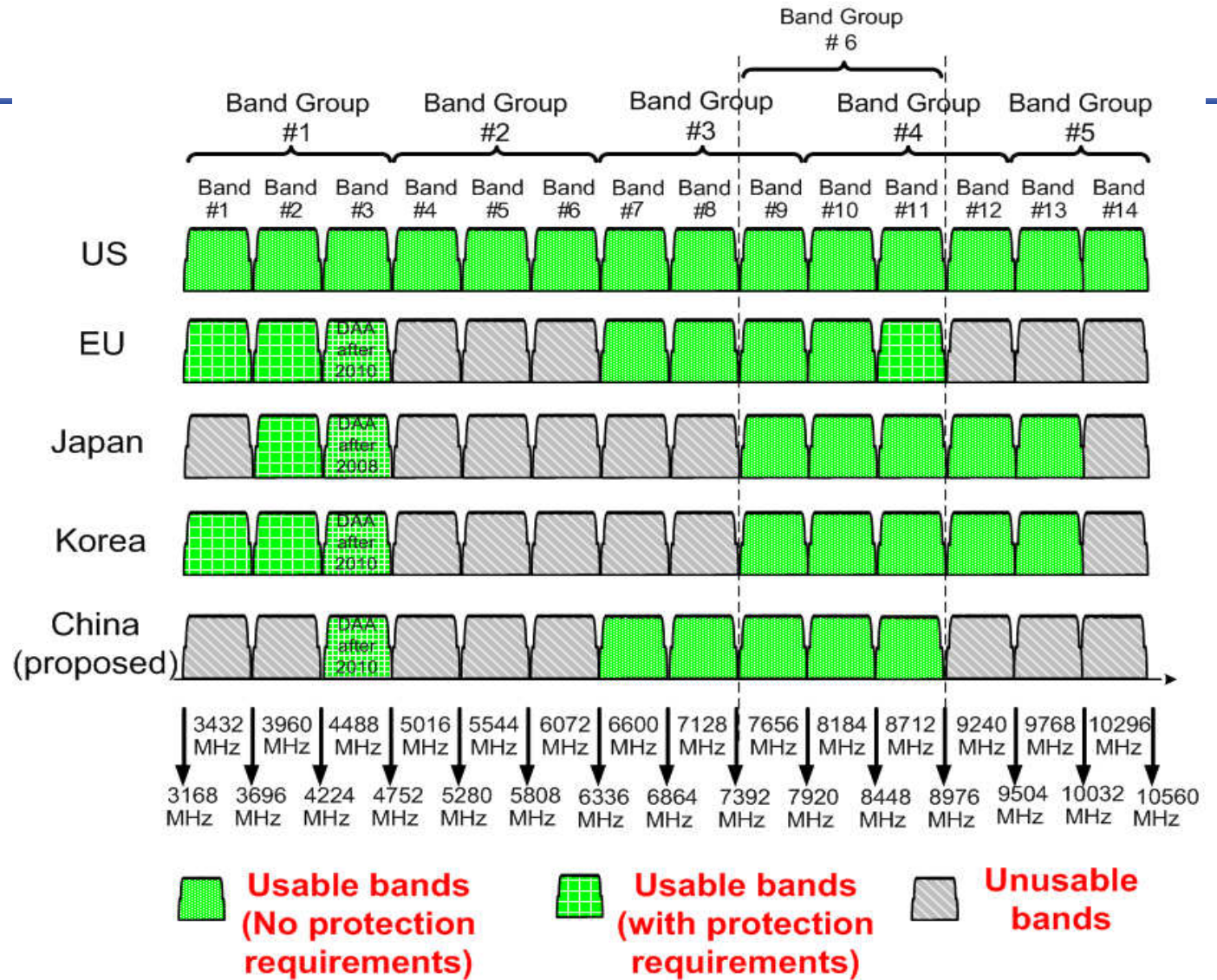
規制について

まとめ

- 周波数割当は、大半の地域で承認済み
- その他地域については、手続きが進行中であり、まもなく完全承認となる見込み
- バンドグループ6は、全世界での共通利用を目的としている。

地域別詳細は以下のスライドの通り。

規制のまとめ



承認済み地域

- 米国
- ヨーロッパ
- 韓国

現状日本

- DAA（2008年6月19日付の公式回答は次のスライド参照）
- 適合試験終了（認証準備OK）
- 6～7.25 GHz帯域の開放を希望
- スプリアス発射の制限が論点となっており、ETSI TG31a標準確定時に提唱予定。
- DAAは、検討中。CEPT TG3をベースとして、必要に応じて日本向けに修正することを提案。
- ハンドヘルド端末の電力要求条件電源を切るのではなくて、「警告メッセージを出す」提案

総務省に提出済み

WiMediaアライアンスは、2010年12月まで4.2～4.8GHz帯でDAA免除を延長するという無線装置規制(2006年発行総務省令第105号)の一部改正提案を強く支持します。

WiMediaアライアンスは、UWB市場発展に寄与する業界活動を目的として創設された団体です。

とりわけ、標準策定、メンバー企業の対規制当局活動のとりまとめ、認証の仕組み作り、互換性の確保、PANにおける業界横断的などりまとめ、UWB技術のプロモーションを実行しています。現在、WiMediaのメンバーは、PC、家電、携帯電話の市場を代表する200社以上の企業です。

承認途上の地域

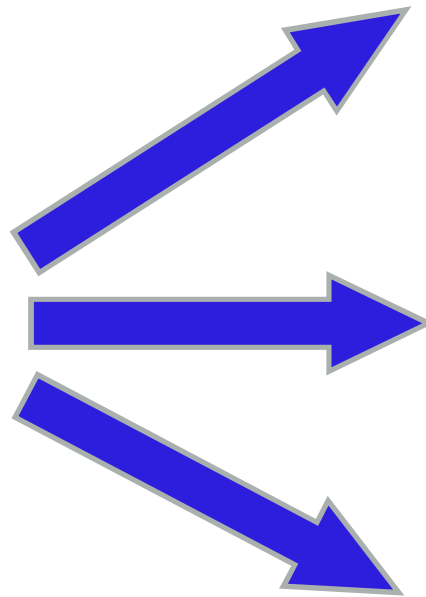
- 中国
- カナダ

今後について

UWB開発の次のステップ

現在

- 高性能
 - 480Mbps
- 最小電力
 - 1.5~2 MW Mbps
- 規制準拠
 - 主要マーケット



2010まで

高いスループット
動画、同期、外出先で使用

周波数拡張
グローバルな規制準拠
知的所有権については検討中

超低電力
別のモバイル用途
で消費



ありがとうございました。



Tom Siep
Global Standards

email: tom.siep@csr.com
www.csr.com

Cambridge Silicon Radio
2425 N. Central Expressway
Suite 1000
Richardson, TX 75080 USA